

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1665 号

院内感染に関する医療訴訟の解析

(Medico-legal Evaluation of Malpractice Claims for Nosocomial Infection)

金崎 浩之 (かねざき ひろゆき)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、多くの医療従事者にとって関心の高い院内感染に関連する医療裁判について、過去 20 年間という長期にわたってその傾向を解析したものである。MRSA の裁判例に関する先行研究は存在するが、菌種を限定せずに長期にわたる裁判傾向を解析したものは、この論文が初めてである。そして、認容率と裁判上の争点については、対象期間の 20 年間に前期・後期に分け、裁判傾向の変遷をも解析対象として加えている点で優れている。また、これまでの医療裁判の解析を目的とした先行研究とは異なり、裁判所の判断傾向だけではなく、そもそも患者側がどのような争点を裁判で主張してくる傾向にあるのかも解析対象に加えており、医療従事者に新たな知見を提供するものと言える。

解析の結果、他の医療裁判と比べて、院内感染に関する裁判では、患者側勝訴の割合が有意に高いことが認められたのは、医療従事者にとって重要な知見である。そして、菌種を限定しなかったにもかかわらず、MRSA に関連するものが大勢を占めていたことは、医療従事者にとって、MRSA に対する新たな注意喚起を促すものと言えよう。また、院内感染防止対策に関しては、医療機関の責任が肯定されたものが 1 件にすぎなかったにもかかわらず、5 割弱で患者側がこれを争点とする裁判を起こしていることから、患者に対する院内感染の正しい認識と理解を促進する啓蒙活動が今後も必要となることが強く示唆され、大いに参考となる。最後に、医療機関の責任を肯定した裁判例の多くでは、医療従事者における診断・治療の遅れが理由とされ、この分野での医療技術の発展が望まれることが分かり、大変示唆に富む。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。